

## 6 高等学校 商業科 問題用紙

(8枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 1 科目「ビジネス基礎」に関して、次の1～5に答えなさい。
- 1 今日の情報通信分野では、技術革新が進み続けており、様々な情報サービスが提供されています。情報サービスのうち、クラウドコンピューティングとは、どのような情報サービスですか。簡潔に書きなさい。
  - 2 3Rは、環境と経済が両立した循環型社会を形成していくための3つの取組の頭文字をとったものです。それぞれどのような取組ですか。簡潔に書きなさい。
  - 3 輸送（物流）における環境負荷の低減にはモーダルシフトや輸配送の協同化、輸送網の集約等の物流効率化が有効であるとされています。モーダルシフトとは、どのような取組ですか。簡潔に書きなさい。
  - 4 ビジネス活動を行う上で、望ましい信頼関係を築くためには、ホスピタリティの意識を共有することが大切であるとされています。ビジネス活動におけるホスピタリティとは、どのようなことですか。簡潔に書きなさい。
  - 5 取引とビジネス計算に関して、次の(1)・(2)に答えなさい。
    - (1) ある株式を1株につき ¥ 2,845 で5,000株売却しました。手取金の総額は、いくらになりますか。求めなさい。ただし、約定代金の0.5680%に ¥ 16,720を加えた手数料を支払うものとします。
    - (2) 大阪商会は、商品の仕入れに際して、次のように2社から見積書を受け取りました。どちらの企業から仕入れたら、より商品を安く仕入れることができますか。安く仕入れることができる会社名及びその際の仕入原価を書きなさい。ただし、運送諸掛を大阪商会在が負担する場合は、 ¥ 120,000 (税込) 必要であることとします。なお、空欄は各自で推定すること。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(8枚のうち2)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

2 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 商業 に関して、次の1・2に答えなさい。

- 1 目標には、「商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」と示されています。地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要とされているのは、どのような資質・能力ですか。簡潔に書きなさい。
- 2 科目「総合実践」 内容の取扱い (1) ア には、「商業の各分野の学習に関連する職業や業務に関して、地域や産業界等と連携して具体的な実務について理解を深める学習活動及び実務に即して知識、技術などを総合的に活用する学習活動を通して、ビジネスを担う当事者としての意識を高めるとともに、ビジネスの実務に対応することができるようにすること。」と示されています。実務に即して知識、技術などを総合的に活用する学習活動とは、どのような学習活動ですか。簡潔に書きなさい。

3 科目「マーケティング」に関して、次の1～4に答えなさい。

- 1 マーケティング・コンセプトには、マーケット・インとプロダクト・アウトなどの考え方があります。マーケット・インとプロダクト・アウトの違いは何ですか。顧客のニーズに対する考え方の違いを踏まえ、簡潔に書きなさい。
- 2 社会志向のマーケティングの中に、コース・リレーテッド・マーケティングという手法があります。コース・リレーテッド・マーケティングとは、どのような手法ですか。簡潔に書きなさい。
- 3 次の資料は、ある消費者が自動車について、デザイン、機能性、乗り心地、価格という4つの属性で評価し、また、それぞれの属性について、自らの重要性を評価したものです。A車・B車・C車のうち、この消費者が多属性態度モデルに従って選択する自動車はどれですか。書きなさい。

[資料]

	デザイン	機能性	乗り心地	価格
重要性	8	5	3	5
A 車	7	8	4	6
B 車	5	5	5	9
C 車	9	4	8	4

- 4 シェルフ・スペース・マネジメントにおいて、ライトアップの法則が効果的であると考えられています。ライトアップの法則とは、どのような法則ですか。簡潔に書きなさい。

# 6 高等学校 商業科 問題用紙

(8枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

4 科目「観光ビジネス」に関して、次の1・2に答えなさい。

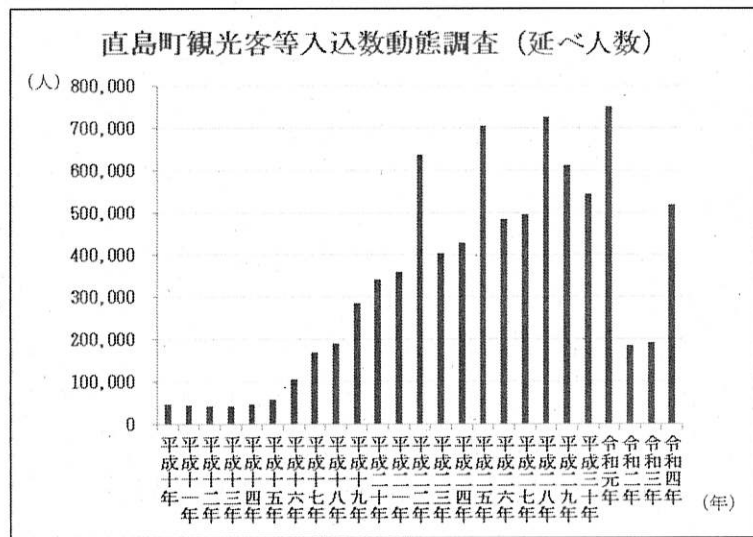
1 目的地への移動方法の一つに、パークアンドライドがあります。パークアンドライドとは、どのような移動方法のことですか。パークアンドライドの目的を踏まえ、簡潔に書きなさい。

2 次の資料Ⅰ～Ⅲは、香川県直島の観光について示したものです。地域ブランディングとは、どのような活動ですか。資料を踏まえ、簡潔に書きなさい。

[資料Ⅰ]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

[資料Ⅱ]



(直島町観光協会「直島町観光客等入込数動態調査」より作成。)

[資料Ⅲ]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

## 6 高等学校 商業科 問題用紙

(8枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

5 科目「ビジネス法規」に関して、次の1～3に答えなさい。

- 1 乙は、甲が所有する住宅を3,000万円であから購入しましたが、引き渡される直前になって、甲が「売り渡したのは建物だけです。」と主張し、建具を取り外して持ち帰ってしまいました。このような場合、乙は、どのように主張すれば、建具を取り戻すことができますか。建物と建具の関係を踏まえ、簡潔に書きなさい。
- 2 次の文は、知的財産権の存続期間について示したものです。文中の(1)～(4)に当てはまる数字の組み合わせとして正しいものはどれですか。下のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

特許権は、出願の日から(1)年間、実用新案権は、出願の日から(2)年間、意匠権は、出願の日から(3)年間、商標権は、登録の日から(4)年間となっている。

- ア (1) 20 (2) 25 (3) 10 (4) 20  
イ (1) 20 (2) 10 (3) 25 (4) 10  
ウ (1) 25 (2) 20 (3) 10 (4) 10  
エ (1) 25 (2) 10 (3) 20 (4) 15

- 3 会社は、法令等を遵守して健全に経営されるとともに、企業価値を増加させるように効率的に経営される必要があります。会社が、株主をはじめ顧客・従業員・地域社会等の立場を踏まえた上で、透明・公正かつ迅速・果断な意思決定を行うための仕組みを何とといいますか。書きなさい。

6 会計に関して、あとの1・2に答えなさい。

- 1 A建設会社(決算日12月31日)は、価格確定契約により2つの工事契約を請け負っています。次の資料を基に、下の(1)・(2)に答えなさい。なお、全ての工事契約について成果の確実性が認められるので、工事進行基準(進捗度は原価割合による)により完成工事高(収益)及び完成工事原価(費用)を計上しています。

[資料]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

- (1) 当期(○2年1月1日～○2年12月31日)における完成工事高の金額は、いくらになりますか。求めなさい。
- (2) 当期(○2年1月1日～○2年12月31日)における完成工事原価の金額は、いくらになりますか。求めなさい。

## 6 高等学校 商業科 問題用紙

(8枚のうち5)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

2 B工業では、製品Cを生産・販売しています。次の資料を基に、下の(1)～(3)に答えなさい。なお、全部原価計算においては、製造間接費は生産量を配賦基準として実際配賦しています。また、製品の払出単価は、先入先出法を用いて計算しています。

[資料]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

[全部原価計算]

損 益 計 算 書					(単位：円)
	第1期	第2期	第3期	第4期	
売 上 高	( )	( )	( )	( )	
売 上 原 価	( )	( )	( )	( )	
売 上 総 利 益	( )	( )	( )	( )	
販売費・一般管理費	( )	( )	( )	( )	
営 業 利 益	( )	( )	( ① )	( )	

[直接原価計算]

損 益 計 算 書					(単位：円)
	第1期	第2期	第3期	第4期	
売 上 高	( )	( )	( )	( )	
変 動 売 上 原 価	( )	( )	( )	( )	
変 動 製 造 マー ジ ン	( )	( )	( )	( )	
固 定 費	( )	( )	( )	( )	
営 業 利 益	( )	( )	( )	( ② )	

- (1) 全部原価計算による損益計算書について、①に記入する金額は、いくらになりますか。求めなさい。
- (2) 直接原価計算による損益計算書について、②に記入する金額は、いくらになりますか。求めなさい。
- (3) 平均法を用いて製品の払出単価を計算すると、全部原価計算による第4期首の製品有高の金額は、いくらになりますか。求めなさい。

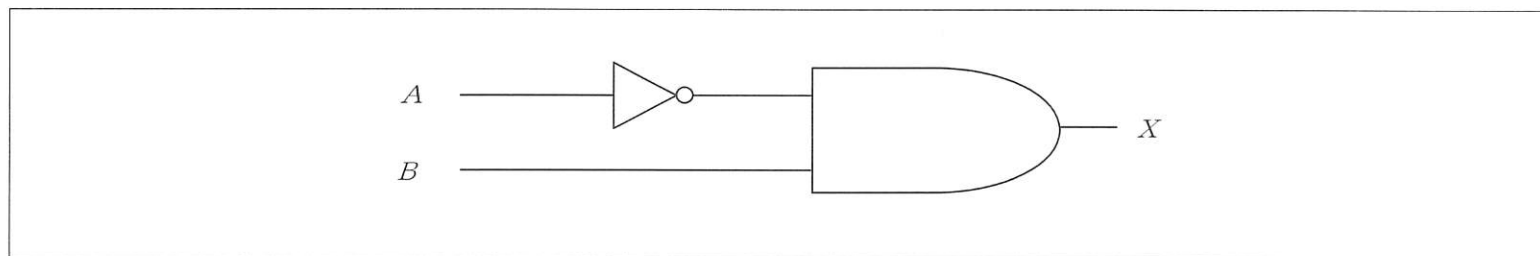
(8枚のうち6)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

7 ビジネス情報に関して、あとの1～3に答えなさい。

1 次の図は、論理演算を行う回路を示しています。入力と出力の組合せとして正しいものはどれですか。下のア～オの中から選び、その記号を書きなさい。



ア

入力		出力
A	B	X
0	0	1
0	1	0
1	0	0
1	1	0

イ

入力		出力
A	B	X
0	0	0
0	1	1
1	0	0
1	1	0

ウ

入力		出力
A	B	X
0	0	0
0	1	0
1	0	1
1	1	0

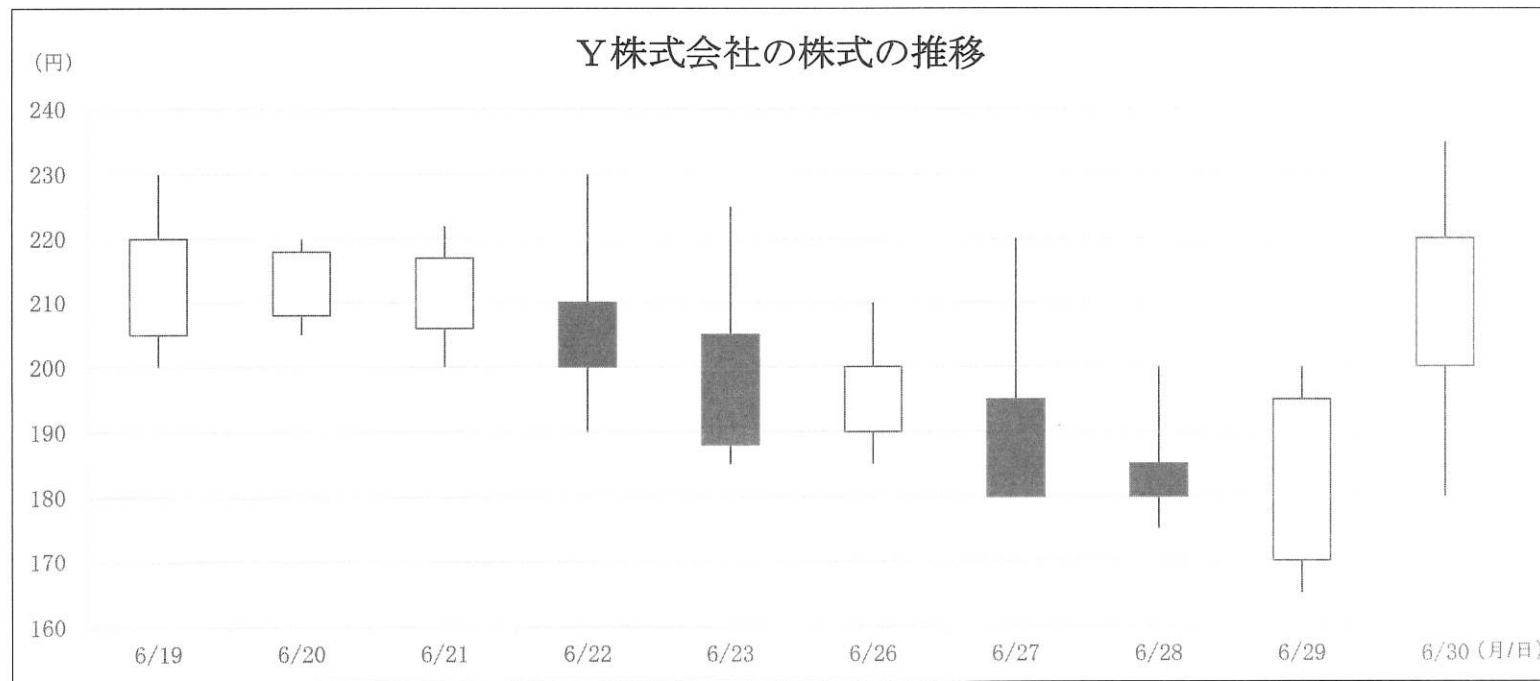
エ

入力		出力
A	B	X
0	0	0
0	1	0
1	0	0
1	1	1

オ

入力		出力
A	B	X
0	0	0
0	1	1
1	0	1
1	1	0

2 次の図は、Y株式会社の株価の推移を示しています。下の(1)・(2)に答えなさい。



(1) 6月19日から6月30日の期間で、終値が始値を上回った日数は、何日ですか。書きなさい。

(2) 6月22日の株価の組合せとして正しいものはどれですか。次のア～エの中から選び、その記号を書きなさい。

- ア 始値 190 円 高値 210 円 安値 200 円 終値 230 円
- イ 始値 200 円 高値 230 円 安値 190 円 終値 210 円
- ウ 始値 210 円 高値 230 円 安値 190 円 終値 200 円
- エ 始値 230 円 高値 210 円 安値 200 円 終値 190 円

# 6 高等学校 商業科 問題用紙

(8枚のうち7)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

3 次の入力データのような得意先データを読み、処理条件にしたがって、実行結果のように表示させるアルゴリズムを流れ図に示すと、資料Ⅰのようになります。資料Ⅰの(1)～(4)には、どのような内容が入りますか。資料Ⅱのア～クの中からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

[入力データ]

得意先コード (Tco) ×××	売上金額 (Urikin) ××××××
------------------------	----------------------------

[実行結果]

(得意先コード)	(得意先名)	(売上金額)	(請求金額)
2005	尾道商会	130,000	130,000
2007	広島物産	200,000	180,000
}	}	}	}
2023	東広島商店	800,000	720,000

[処理条件]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

[資料Ⅰ]

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

[資料Ⅱ]

ア  $Urikin \geq 200000$   
 イ  $Urikin \leq 200000$   
 ウ  $Urikin \times 0.9 \rightarrow Seikyu$   
 エ  $Urikin \times 0.1 \rightarrow Seikyu$   
 オ  $j - 1 \rightarrow j$   
 カ  $j + 1 \rightarrow j$   
 キ Tco, Amei(j), Urikin, Seikyu  
 を表示  
 ク Aco(Tco), Amei(Tco), Urikin,  
 Seikyu を表示

(8枚のうち8)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、全て解答用紙に記入すること。)

- 8 科目「ビジネス・マネジメント」において、次の資料Ⅰのとおり、「ビジネスの創造の意義と課題」に関する授業を行うこととします。本時において、資料Ⅲに示した本時の目標を達成させるために、どのような授業を展開しますか。資料Ⅰ・資料Ⅱを踏まえて、本時の授業計画を簡潔に書きなさい。

〔資料Ⅰ〕

学科・学年・生徒数	商業科・第2学年・40名		
科目名	ビジネス・マネジメント		
単元名	ビジネスの創造の意義と課題		
単元の目標	(1) ビジネスの創造の意義と課題について理解するとともに、課題解決に繋がる知識と技術を身に付けるようにする。 (2) 自ら課題を設定し、科学的な根拠に基づいて課題を絞りこみ、有効な解決策を構築する力を養う。 (3) ビジネスの創造と展開について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
単元の評価規準	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・ビジネスの創造の意義と課題について理解している。 ・身近な課題の解決に繋がる知識と技術を身に付けている。	・ビジネスの創造の目的と意義について考察するとともに、その内容について表現する力を身に付けている。 ・自ら課題を設定し、有効な解決策であるビジネスモデルを構築している。	・ビジネスの創造と展開について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。
単元計画 (全5時間)	時数	主な学習内容	
	1	・日本におけるビジネスの展開と創造について、基礎知識を学ぶ。 ・ビジネスの創造の意義と課題について学ぶ。	
	2	・ビジネスモデルの事例分析を行う。	
	3	・身近な事例や具体的な課題を用いて、ビジネスの動向やビジネスに役立つ資源、情報を収集する。	
	4 (本時)		
5	・グループごとに発表を行う。 ・身に付けた知識・技術等を確認し、今後の学習にどう活かしていくかまとめる。		

〔資料Ⅱ〕

<b>【生徒の学習状況等】</b> ・第2時の授業において、ビジネスアイデアを実現するためにはビジネスプランの作成（ビジネスアイデアをいかに実現するかという戦術）と、ビジネスモデルの構築（ビジネスアイデアの実現に向けて、何を行うかを明確にする戦略）が必要であることについては、具体的な事例分析を通して学習している。 ・第3時の授業において、市町村の情報サイトや地域経済分析システムを活用し、学校のあるA市の現状把握等を行っている。 ・本時では、デジタル機器を活用したグループ学習を取り入れることにした。
--

〔資料Ⅲ〕

<b>【本時の目標】</b> A市の資源、情報を基に、A市の課題解決に繋がるビジネスモデルを構築することができる。
--



6

高等学校 商業科 解答用紙

(4枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄
1	1	
	2	
	3	
	4	
	5	(1) [円]
	(2) [株式会社] [円]	
2	1	
	2	

6

高等学校 商業科 解答用紙

(4枚のうち2)

受験番号		氏 名	
------	--	-----	--

問題番号		解答欄
3	1	
	2	
	3	
	4	
4	1	
	2	
5	1	
	2	
	3	

6

高等学校 商業科 解答用紙

(4枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号		解答欄	
6	1	(1)	
		(2)	
	2	(1)	
		(2)	
		(3)	
	7	1	
2		(1)	[日]
		(2)	
3		(1)	
		(2)	
		(3)	
		(4)	

6

# 高等学校 商業科 解答用紙

(4枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

問題番号	解答欄			
	授業計画			
	過程	学習活動	指導上の留意点 (◆努力を要する状況と判断した生徒 への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)
8				